

山口県の農業農村整備

2024

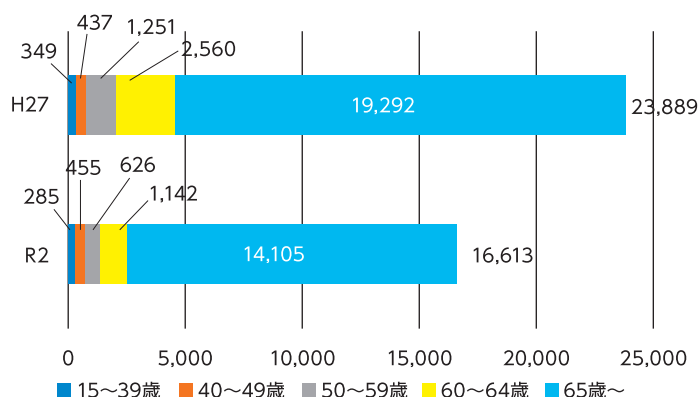


2023年度農業農村整備優良地区コンクールの農業振興部門で、
山口市南部の川西地区が「農林水産大臣賞」を受賞しました。

山口県の農業情勢

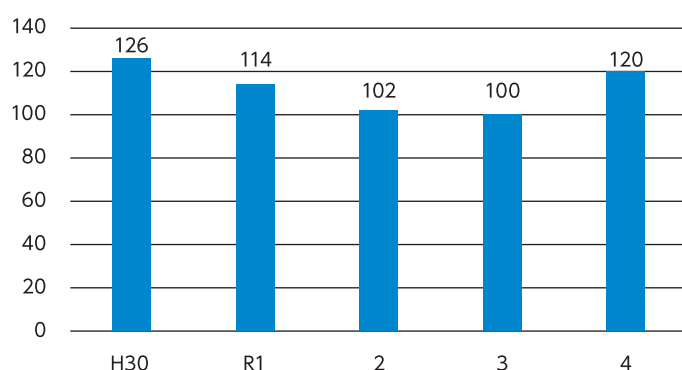
山口県の基幹的農業従事者数は平成27年の約2万4千人から令和2年の約1万7千人と5年間で約3割減少するとともに、その平均年齢は72.3歳(全国67.8歳)と全国最高齢となっています。一方、毎年100人程度の新規就農があります。意欲ある担い手が効率的な農業経営ができるよう、スマート農業に対応した農地整備や地域ぐるみでの農業用施設の維持管理が重要となっています。

年齢別基幹的農業従事者数(山口県) 単位：人



出典：2020年農林業センサス

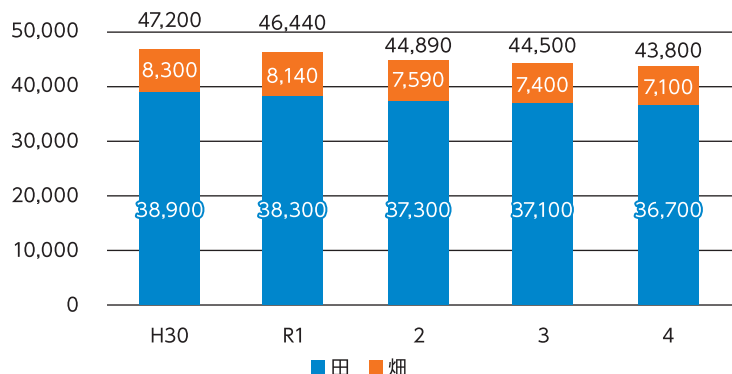
新規就業者数(山口県) 単位：人



出典：県農業振興課より聞き取り

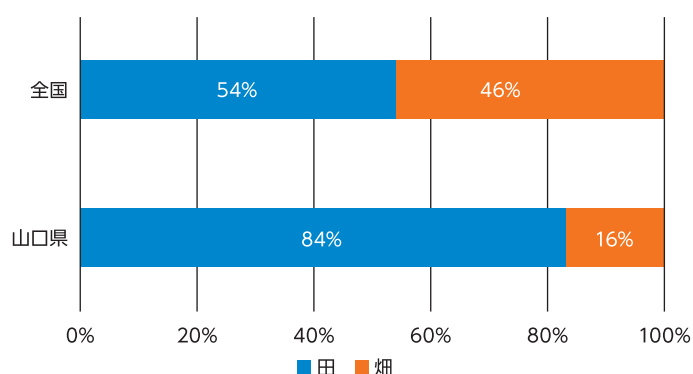
耕地面積は平成30年の47,200haから令和4年の43,800haと減少傾向にあります。耕地の84%が水田で、全国の54%と比較して極めて高くなっています。このため畑作物の生産拡大に向け、水田でも畑作物の作付を可能とする水田高機能化を推進する必要があります。

耕地面積の推移(山口県) 単位：ha



出典：平成30年～令和4年耕地及び作付面積統計

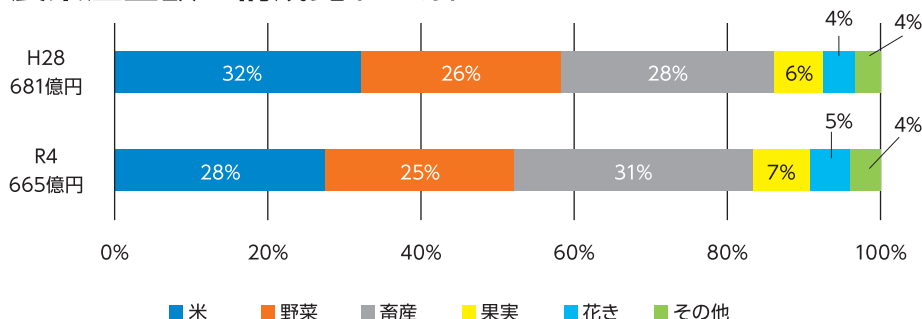
耕地面積の構成比



出典：令和4年耕地及び作付面積統計

主食用米は減少傾向にありますが、主食用米以外(加工用米、飼料用米等用途米)および麦、大豆等の戦略作物は増加傾向です。今後も水田フル活用による経営リスク分散の観点から、転換作物の作付を推進することが必要です。

農業産出額の構成比(山口県)



出典：令和4年農業産出額及び生産農業所得統計

やまぐち農林水産業振興計画(2022年度～2026年度)

「生産性を高める基盤整備」、「農村の持つ多面的機能の維持」、「防災・減災機能の強化」の3本柱を総合的・一体的に推進し、相乗的な効果発現のため、農業生産や農村地域を支える基盤整備・防災力強化を着実に推進することで、「生産性と持続性を両立した強い山口県農業の育成」を実現し、農業の持続的かつ安定的な発展と農業農村の振興を目指します。

強い農林水産業の育成
生産性と持続性を両立した

1. 成長を支える多様な人材や中核経営体の確保・育成
2. 県産農林水産物のさらなる需要拡大
3. 需要の変化に対応した持続可能な生産供給体制の確立
4. 産地の維持・拡大に向けた基盤整備と防災力強化

I 生産性を高める基盤整備

【生産基盤の整備による農業の成長産業化】

区画整理、水田高機能化、施設の長寿命化 等

II 農村の持つ多面的機能の維持

【多様な人が住み続けられる農村の振興等】

多面的機能支払、中山間地域等直接支払 等

III 防災・減災機能の強化

【農業・農村の強靱化】

ハード整備(ため池、頭首工、排水機場、海岸保全施設等)

ソフト整備(防災対策への備え、施設の長寿命化計画等)

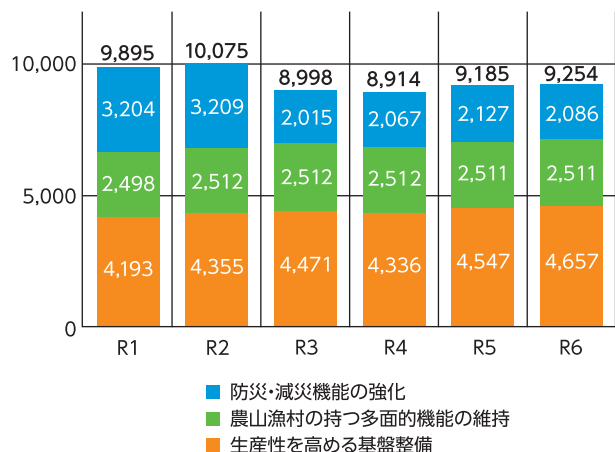
主な整備目標

	現状値(2021)	目標値(2026)	令和5年度実績(2023)
生産性を高める基盤整備			
区画整理面積	23,407ha	23,900ha	23,673ha
水田高機能化面積	2,111ha	2,900ha	2,420ha
長寿命化施設(農業施設・着手)	32箇所	38箇所	36箇所
農村の持つ多面的機能の維持			
多面的機能支払取組面積(農地維持支払)	20,221ha	23,000ha	20,395ha
中山間地域等直接支払取組面積	11,557ha	12,000ha	11,736ha
防災・減災機能の強化			
防災重点農業用ため池の整備箇所数(累計)	1,693箇所	1,868箇所	1,773箇所
頭首工の改修	81箇所	93箇所	90箇所
排水機場の改修	52箇所	59箇所	55箇所
海岸保全施設の整備延長	104.6km	109.2km	106.5km

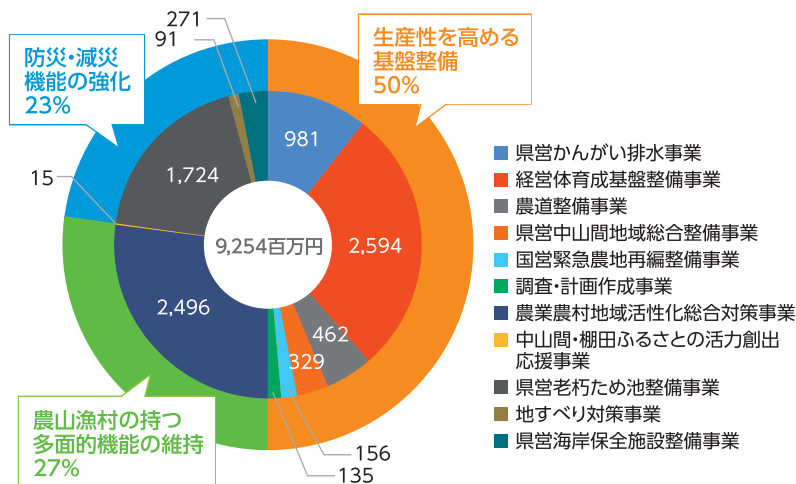
※農村整備課関係事業について記載

農業農村整備関係予算の推移

単位：百万円

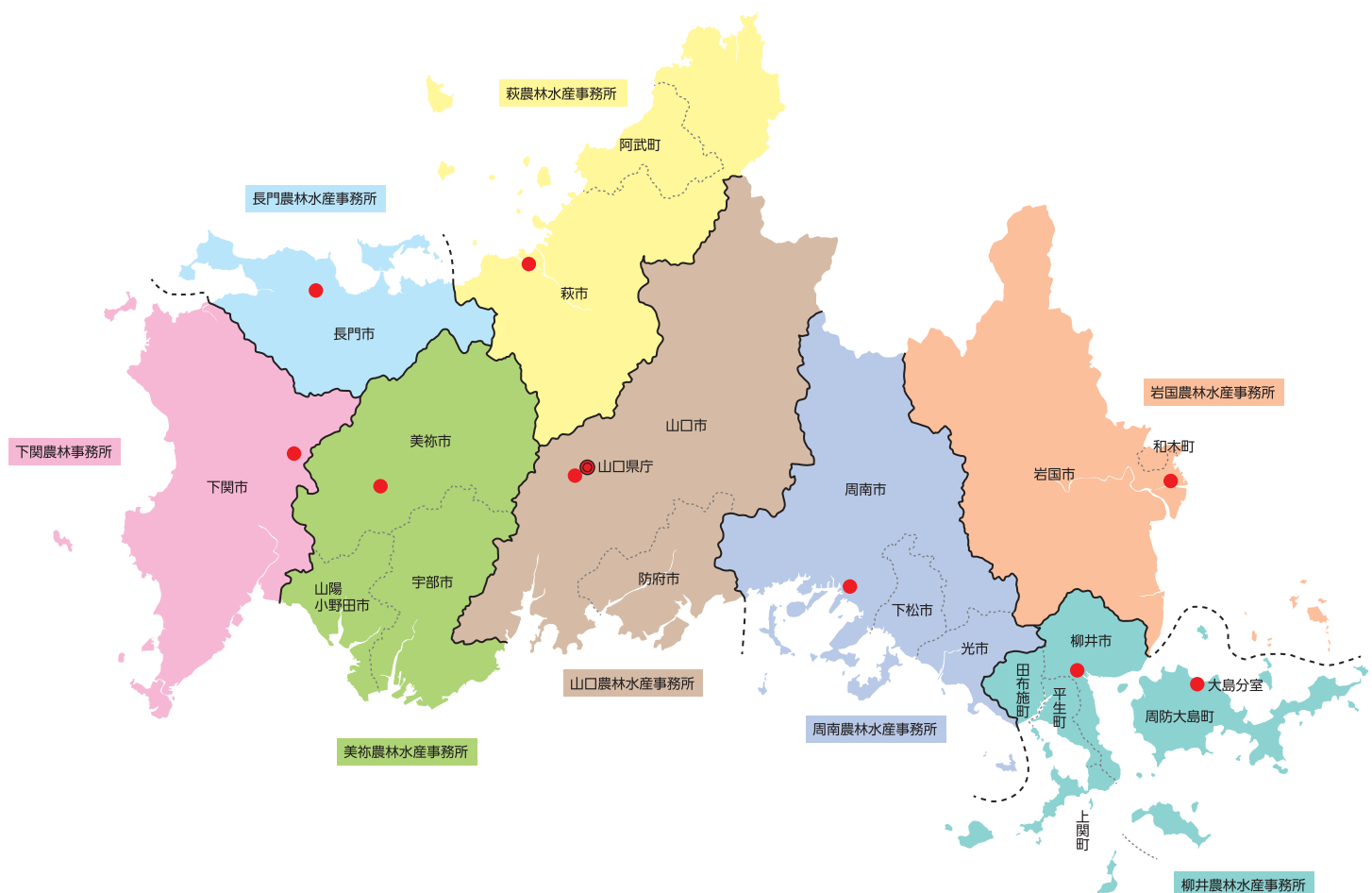


令和6年度 農業農村整備関係予算



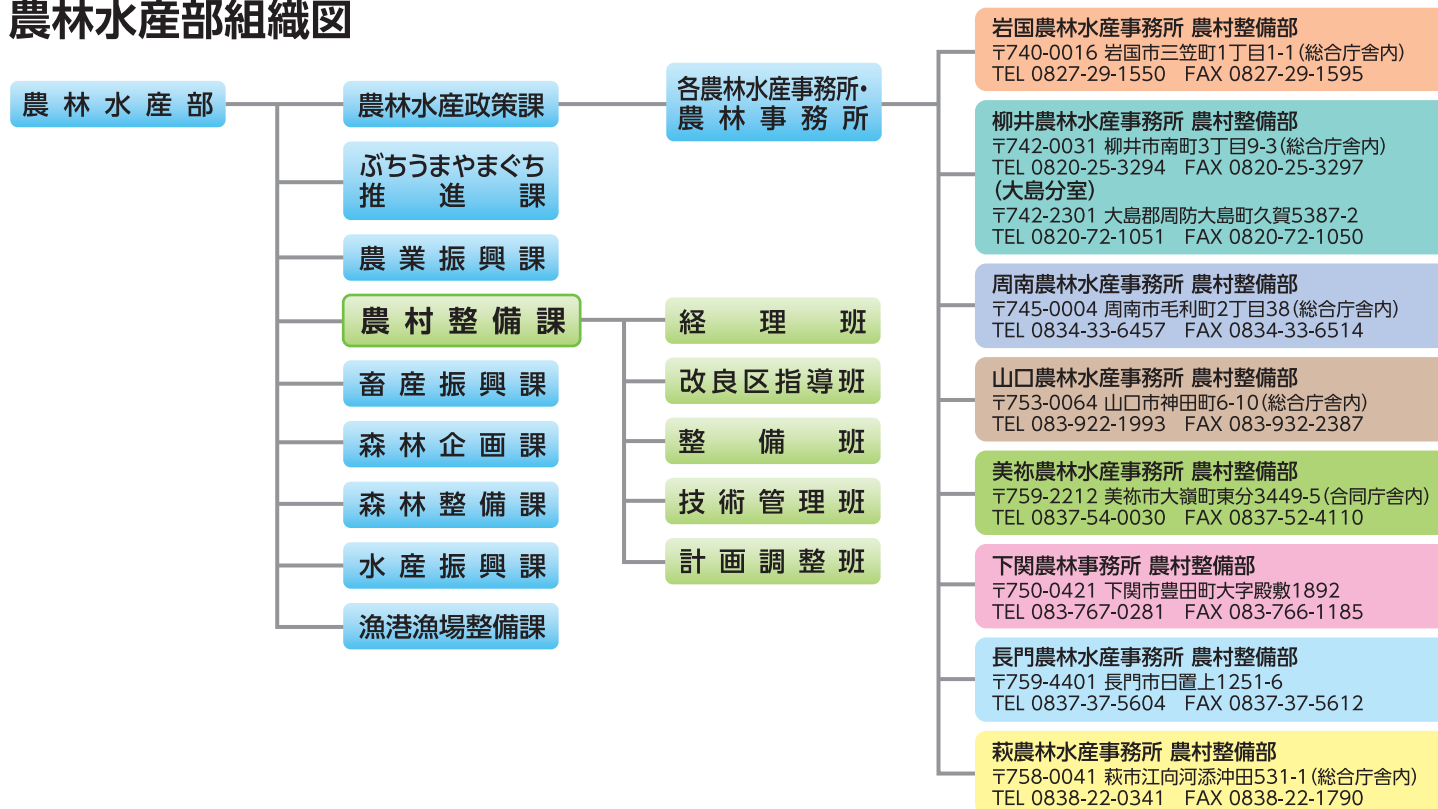
出典:農業農村整備関係予算の推移(2024)

農林水産事務所・農林事務所農村整備部所管区域



農業農村整備の推進は、農村整備課及び各農林水産事務所・農林事務所農村整備部により計画的に進めています。

農林水産部組織図



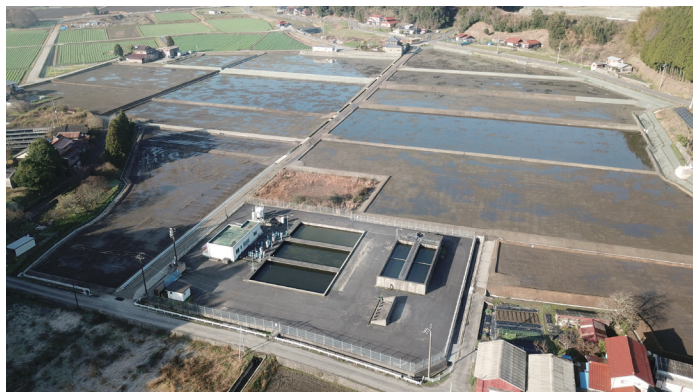
編集・発行

山口県農林水産部農村整備課 〒753-8501 山口市滝町1-1
TEL 083-933-3400 FAX 083-933-3429 E-mail a17500@pref.yamaguchi.lg.jp

I 生産性を高める基盤整備 生産基盤の整備による農業の成長産業化

1 区画整理

作業効率の向上や水管理の省力化等を通じて生産コストの削減に向けた、スマート農業技術が活用可能となる農地の整備を推進します。



農地の大区画化(周南市:長穂)



水管理省力化システム説明会(下関市:新田)

2 水田高機能化

米中心の営農から、麦・大豆等の土地利用型作物の生産拡大や野菜等の高収益作物への転換を促進する、水田の汎用化・高機能化を推進します。



フォアス施工後(防府市:下津令)



フォアス施工後(下関市:小野朝生)



シートパイプ施工状況(周南市:長穂)

山口県オリジナル農産物

県独自の農産物の中から代表的な6つと、「ぶちうま! キャラクター」(イラストは左から、はなっこりん、なすこさん、ふらわん、みかちゃん)の紹介です。



3 農業用施設の長寿命化

農業生産や農村生活を支える土地改良施設等のライフサイクルコストを低減する長寿命化を進めます。



橋の耐震補強(長門市:長門大津)



頭首工の修繕(防府市:防府総合堰)



水路の補修(宇部市:御撫育)

Ⅱ 農村の持つ多面的機能の維持 多様な人が住み続けられる農村の振興

4 農村に人が住み続けるための条件整備

中山間地域等においては、地域の特性に応じた区画整理や獣害防止柵など、きめ細やかな整備を推進します。農村に人が安心して住み続けられるよう、農業集落排水施設の長寿命化・省エネルギー化等により農村における生活インフラの整備を推進します。



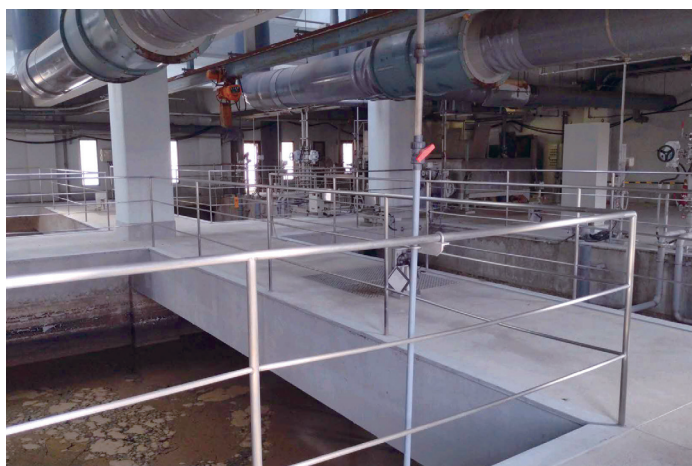
中山間地域の区画整理(下関市:後地・荒田)



農道の整備(防府市:牟礼小野)



獣害防止柵(田布施町:麻郷奥)



集落排水施設の整備(下関市:菊川中央)

5 日本型直接支払制度

日本型直接支払制度を活用し、多様な人材の参画による持続可能な地域組織の運営体制の強化に取り組めます。

また、棚田地域では、棚田の有する多面的な機能の理解促進を図るなど、棚田を核とした地域振興の取組を支援します。



水路の清掃



農道舗装



棚田地域の草刈り

Ⅲ 防災・減災機能の強化 農業・農村の強靱化

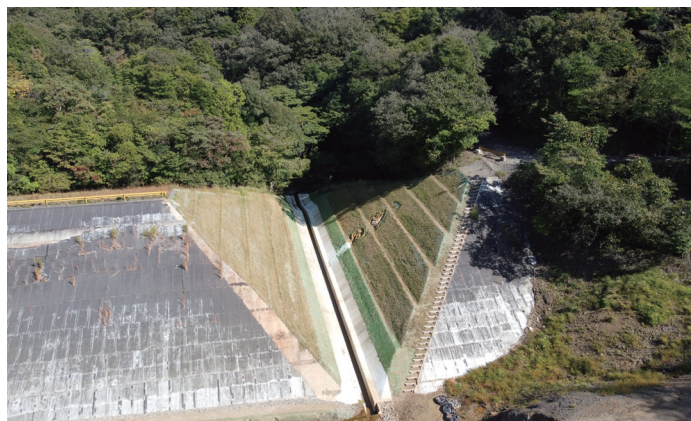
6 ため池の整備

防災重点農業用ため池の決壊による周辺地域への被害を防止するため、劣化状況評価等に基づき、改修・廃止等の防災工事を集中的かつ計画的に推進します。

管理保全体制の確立に向けて「ため池サポートセンターやまぐち」と連携して、ため池点検パトロールや管理者等への技術的指導・助言等を行います。



ため池の改修(宇部市:小野下)



ため池の切開(美祿市:三百田)



ため池点検パトロール



ため池サポートセンターやまぐちによる指導

7 頭首工の改修

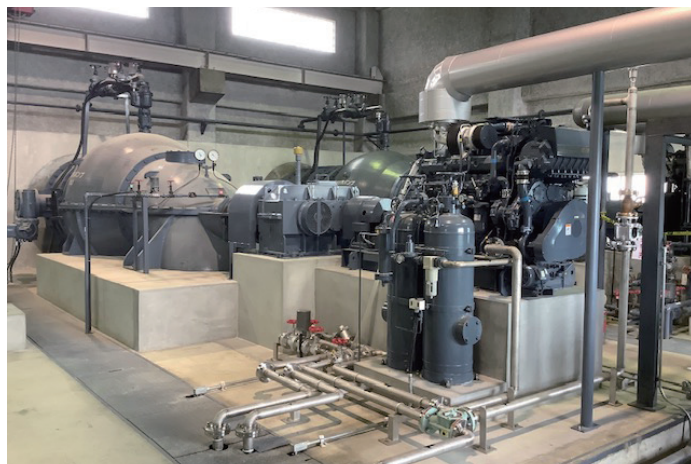
更新時期を迎えた頭首工の機能不全による災害発生を未然防止するため、計画的な補修・改修を進めます。



頭首工の改修(山陽小野田市:石井手)

8 排水機場の改修

大雨等による浸水被害を未然防止するため、老朽化が進んでいる排水機場について、計画的に補修・更新整備を進めます。



排水機場の改修(山口市:江崎)

9 海岸保全施設の整備

地震や台風等による津波、高潮、波浪等の自然災害から堤防背後に広がる農地や農業用施設、人家、公共施設等を防護するため、海岸保全施設の整備を進めます。



海岸堤防の補強(山陽小野田市:黒崎開作)

10 地すべり防止対策

地すべりによる被害を除去、又は軽減するため、「地すべり等防止法」により指定された区域内において、抑制工や抑止工などの地すべり防止施設の整備を進めます。

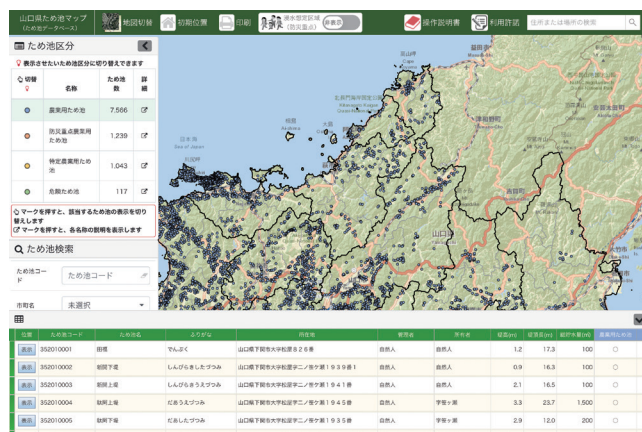


地すべり防止対策(長門市:中の森2期)

11 防災対策への備え

山口県ため池マップ(ため池データベース)を整備しました

「農業用ため池の管理及び保全に関する法律」に基づき、山口県における農業用ため池の位置、名称、その他基礎情報を掲載した「ため池マップ(ため池データベース)」を整備し、公表しています。



ynn報告アプリで災害・点検報告!

ため池の点検や維持管理情報、豪雨・地震時の災害情報、また農業農村の風景などを撮影し、住民避難や防災対策、農業農村の振興に役立てる「報告アプリ」を運用しています。



被害情報の伝達に!



昨日の大雨で
田が崩れました



施設管理の報告に!



大雨に備えて、
ため池の水位
を下げました

